

♥薬物治療学特論♥

対象学年：大学院

責任者名：向後 麻里（薬物治療学）

授業形式等：講義・演習・選択、1単位

◆一般目標（GIO）

チーム医療において薬剤師として適正な薬物治療を実践するため、適切に患者情報を収集した上で、病態を正しく評価し、個々の患者に最適な薬物治療を提案・実施・評価できる能力を修得する。

◆行動目標・到達目標（SBOs）

1. 代表的な疾患の病態および基本的な症状や診断基準について説明できる。
2. 代表的な疾患の標準的な薬物治療について説明できる。
3. 代表的な疾患の薬物治療に関する最新の知見を説明できる。
4. 代表的な疾患に用いられる治療薬を列挙し、その特徴および使用上の注意について説明できる。
5. 代表的な症例において、薬物治療の目標（短期、長期、最終的ゴール）を設定できる。
6. 代表的な症例において、SOAP形式により薬物治療の問題点を抽出および評価し、治療計画を立案できる。
7. 病態（肝・腎など）や生理的特性（妊婦・授乳婦、小児、高齢者など）を考慮し、薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる。
8. 患者の病態や重症度を把握し、薬物治療の適性を評価したうえで最適な薬物治療を立案し、提案できる。
9. 治療ガイドラインを確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。
10. 代表的な症例において、医薬品の効果や副作用をモニタリングするための項目（症状、臨床検査値等）を列挙し、対策を立案できる。
11. 代表的な症例において、服薬指導が必要な注意点を列挙できる。
12. 議論に積極的に参加し、得られた結論をわかりやすく述べることができる。

◆評価方法

演習レポート、ルーブリック評価

◆オフィス・アワー

向後麻里、大林真幸、神山 紀子、渡邊 徹



◆授業概要とスケジュール

《授業概要》

代表的な疾患について、病態や重症度、エビデンスに基づいた薬物治療などを学習する。学習方法は、講義、演習を組み合わせた参加型学習である。第1回～第2回は、薬物治療を実践する上で必要なPOSおよびEBMについて学習し、第3回～第10回は、代表的な疾患の症例を用いて、昭和大学附属8病院の専門・認定薬剤師と一緒に最適かつ最新の薬物治療について討議する。

《講義や演習の内容》

- ①薬剤師が代表的な疾患の症候や病態、診断、標準的な薬物治療などについて概説する。
- ②代表的な疾患の症例において、POSを利用して薬物治療に関する問題点を解決する。
- ③薬剤師が症例の解説や薬物治療のポイント、最新の知見について解説する。

《代表的な症例》

小児・腎・循環器・精神・感染症・消化器・妊婦授乳婦・周術期などに関する症例

◆教材（教科書、プリント等）

薬物治療学（南山堂）、UPTODATE、各種ガイドラインなど

◆全学年を通しての関連ユニット

薬と疾病、事前学習、実務実習、アドバンスト実務実習

◆担当教員

向後 麻里	薬学部	薬物治療学	教授	mari-k@pharm.showa-u.ac.jp
大林 真幸	薬学部	薬物治療学	准教授	ohbayashi@pharm.showa-u.ac.jp
神山 紀子	薬学部	薬物治療学	講師	noriko-kyb@pharm.showa-u.ac.jp
渡邊 徹	薬学部	病院薬剤学	教授 (員外)	t-watanabe@cmed.showa-u.ac.jp
栗原 竜也	薬学部	病院薬剤学	講師	kurihara@pharm.showa-u.ac.jp
田中 広紀	薬学部	病院薬剤学	講師	h-tanaka@cmed.showa-u.ac.jp
須永 登美子	薬学部	病院薬剤学	講師	tomiko-s@cmed.showa-u.ac.jp
中村 彰子	薬学部	病院薬剤学	助教	shoko.n@cmed.showa-u.ac.jp
小林 麻美	薬学部	病院薬剤学	助教	mamik@cmed.showa-u.ac.jp
永井 努	薬学部	病院薬剤学	助教	tnagai@cmed.showa-u.ac.jp
中山 泰葉	薬学部	病院薬剤学	助教	yasuha0131@cmed.showa-u.ac.jp
米澤 龍	薬学部	病院薬剤学	助教	yonezawa.r@cmed.showa-u.ac.jp
二村 哲未	薬学部	病院薬剤学	助教	s.nimura@cmed.showa-u.ac.jp
越塚 宏美	薬学部	病院薬剤学	助教	hiromi.k@cmed.showa-u.ac.jp
八木 仁史	関東労災病院	薬剤部	助教	hitoyag@gmail.com

◆予定表

回	月日	曜日	時限	学習項目	担当
1	5月15日	水	18:30-20:00	POS 講義・演習	向後麻里
2	6月19日	水	18:30-20:00	EBM 講義・演習	栗原竜也
3	7月17日	水	18:30-20:00	腎疾患の薬物治療① 症例演習と薬物治療のポイント	二村哲未
4	8月28日	水	18:30-20:00	循環器疾患の薬物治療② 症例演習と薬物治療のポイント	須永登美子 中村彰子
5	9月18日	水	18:30-20:00	感染症疾患の薬物治療③ 症例演習と薬物治療のポイント	田中広紀
6	10月16日	水	18:30-20:00	精神疾患の薬物治療④ 症例演習と薬物治療のポイント	永井 努
7	11月20日	水	18:30-20:00	周術期の薬物治療⑤ 症例演習と薬物治療のポイント	米澤 龍
8	12月18日	水	18:30-20:00	消化器疾患と栄養療法⑥ 症例演習と薬物治療のポイント	越塚宏美 (八木仁史)
9	1月15日	水	18:30-20:00	妊婦・授乳婦の薬物治療⑦ 症例演習と薬物治療のポイント	小林麻美
10	2月5日	水	18:30-20:00	小児疾患の薬物治療⑧ 症例演習と薬物治療のポイント	中山泰葉

※教室：2号館4階ラーニングコモンズ 18:30-20:00

